2011 年 9 月号 No.059

2011 年 9 月 6 日発行

月刊 かわごえ環境ネット

かわごえ環境ネット

目次

地域環境活動を聴く（37）小嶋みちさん…… 2
かわごえ環境ネットの活動報告（6 題）……3-6
会員・地域・流域の環境活動（3 題）……7-9
川越市からのおしらせ…… 9
理事会・専門委員会からの報告（2 題）……9-10
おしらせ・広報委員会から・イベントカレンダー…… 10-16

子どもと環境

「里山の学校」のパンフレット

川越在住の監督原村政樹氏の長編ドキュメンタリー映画「里山の学校」を観てきました。

千葉県木更津市の 1 万坪の里山で毎週土曜日に開かれている「土曜学校」での様子を描いています。小学生の異年齢集団が描き出す子ども社会のあれこれや子どもの個性をカメラは淡々と写します。

「学校」といえども土曜学校の校長先生宮﨑栄樹氏や関わる大人たちは大声を出して何かを教えるのでなく、大人の論理を押しつけることなく気長に「見守る」。宮﨑校長先生と子どもとのやりとりが面白い。論語から「子曰く徳は孤ならず必ず隣有り」を 3 年生から 6 年生と音読する。「意味は？」の発問に子どもなりの解釈で答えているのが何とも可愛い。

3 年もの長い記録の中からギュッと搾り取ったであろう映像は、自分の子ども時代を思い起こさせてくれました。空間（空き地や自然）があり、自由になる時間を持った仲間がいて、今日の遊びを自分たちで考えた昔の子どもがこの映画の中にいました。この里山での活動は画面に出てこない多くの大人（親、土曜学校講師の面々、土地を提供してくれている地域の方々）によって支えられ、社会・自然環境が確保されています。子どもは笑っていても泣いていても、存在すべてが宝です。子どもが関われる環境活動をしなくてはと思いました。

設立 10 周年記念のかわごえ環境フォーラム「かわごえカフェ」で多くの方たちと語ったように、環境について子どもの生の声が聞きたくなります。「幸福とは？」「豊かさとは？」「大人の果たすべき役割とは？」昔の子ども（みんなそうですよね）であるかわごえネット会員の皆様、10 周年を越えて新たな視点で活動しませんか?

かわごえ環境ネット　副理事長　横山三枝子

小嶋みちさん　　個人会員訪問 地域環境活動を聴く（37）

小嶋みちさんに個人会員訪問のお電話を掛けると「もう私・・・環境ネットをやめようかと思っているの・・・」と意外な言葉が返ってきました。えー、どうしてですか。とお聴きしますと「私は、もう 84 歳になります。特に何かしていることもないので、お話することもありません。」「環境活動なんてしていません。好きな花を見に、一人で長野とかに出かけて楽しんでいます。」84 歳、1 人で遠くまで、好きな花を見に出かける元気がある方には、是非お会いしたいです。

お住まいの近くに私が出かけます。仙波河岸史跡公園の東屋で落ち合い、お話がきけました。朝の 9 時。仙波河岸史跡公園にセミ時雨が降り注いでいるなか、東屋には朝の散歩に来た方々が先に座を占めていました。小嶋さんが、「滝の前にあるベンチに座りましょうか」と提示され、これは良き眺め・・・とセミの鳴き声、滝の水音・・を聞きながら、取材になりました。

仙波河岸史跡公園・・・滝口の前にあるベンチに座って

小嶋さん、お生まれはどちらですかとおきしたのが始まり。「私は、秩父で生まれ昭和 15 年 3 月、小学校 6 年生まで住んでいました。」「その後、父の転勤で川越に来まして、浦和の女学校に通学をいたしました。」「秩父しか知らない私が、浦和までバスと電車で通学を始めたころは、毎日大宮の駅員さんに電車の行き先を聴いていたのを思い出します。」「生物の先生に植物やカエルの解剖などの指導を受けていました。」「今でも先生は 94 歳でお元気、電話でのお話をしております。」

かわごえ環境ネットに入ったのは、どのような時なのですか。「川越市の広報に、この公園の観察会が案内されていたので、家の近くでもあり申し込み参加しました。」「講師の方から、草花や木の名前など植物のお話を聴いていました。」「何回か参加したら入会を勧められ、環境ネットに入りました。」「草むしりとかを手伝い、ヒメヤブランを植えしました。」

ベンチに座り、仙波の滝を見ながら、私と 10 年の差がありますが、同じような時代に生きてきた小嶋みちさんからお聴きすると、うなずける話が多くありました。

日々の生活は、どのようになさっていますかもお聴きしました。「娘夫婦と生活しており、家事もすべて娘が先にしてしまいますので、生活感があまりありません。」「外出するのも、知らないところには、出かけるのがおっくうになります。」「でも、何回か行ったことのある北公民館あたりは、歩いて行きます。」「それと、東松山の森林公園には、花を見に出かけます。」「環境ネットのカレンダーを見て、自分が知っているところには、行きたいと思っています。」「先日、長野で撮った写真がこれです。きれいでしょう。」と見せられた写真は、露がつき、光を受けて輝くチングルマの花、青いケシの花、カメラを持ち、一人歩きで自然観察している姿が見えました。

「私の同級生は、皆出歩けない方が多くなり、同窓会もしなくなりました。」「でも私は、外国への旅も、一人でツアーに参加しています。」「今までにエジプト、トルコ、ケニア、タンザニア、セイロン、マダガスカル、アンコールワット、ボロブドール。」「遺跡・石窟見物が好きで、娘からは、ドサ廻りの外国旅ばかりだね。と言われています。」「この他にアメリカ、ロシアにも行きました。ツアーで行くとガイドが付くので安心。と娘が言っています。」

「でも私は、布きれとお針箱を持たせたら何時までも楽しく過ごせます。」「自分の着るもの、夫の着るもの、皆自分で縫っていました。」「今でも足踏みミシンで縫い物をしています。」「今日着ているものも手縫いです。」そうですか。その肩にかけたバックもですかとお聴きすると、「これはインドのサリーの端切れで作りました。」お聴きしようと思っていた環境活動が、生活の中で衣装リサイクルをしている。どこで洋裁を習ったのですかと聴くと「学校で習っただけです。見まねで覚えて作るのって楽しいですよ。」戦後の何でも欠乏時代に生きた人の工夫・知恵はエコ活動を実践していると大きなうなずきが出てきました。

（2011 年 8 月取材　理事・広報委員：金子晃）

かわごえ環境ネットの活動報告

ムサシトミヨ保護センター等の見学会報告

自然環境部会

日時：7 月 29 日（金）9:00～16:00
場所：ムサシトミヨ保護センター他
参加者：23 名

今回の見学会は、熊谷市久下の「ムサシトミヨ保護センターの見学」、そして羽生にある「さいたま水族館」と加須にある埼玉県の施設「環境科学国際センター」を巡るバスツアーとして実施しました。夏休み期間中ということで子供たちの参加もいただき、おかげでバスの中はいつも子供達の元気な声につつまれて楽しい見学会でした。

最初に訪れたムサシトミヨ保護センターでは、熊谷市環境政策課角張氏のわかりやすい説明を受け、ムサシトミヨと生息する元荒川の美しい清流を見た後、「さいたま水族館」に移動。昼食後は水族館の宝物である「国内唯一の食性植物ムジナモ、国の天然記念物ミヤコタナゴ、埼玉県の県魚であるムサシトミヨ」の 3 つの希少な生物を含め、荒川上流部の渓流に住む「イワナ」から中・下流域の魚、沼の魚、回遊魚等々見学頂きました。続いて環境問題を気軽に学習できる施設であり、生態園（エコロッジ）もある環境科学国際センターを訪ねましたが、立派な施設の割には見学者も少なく、予算削減の影響か手入れが十分されていない状況もうかがえました。（市川衛）

ムサシトミヨ保護センターにて

さいたま水族館入口にて

水族館内にて
（世界のカエル展をやっていました）

水生食虫植物のムジナモ

ムジナモが自生する池の付近にて

環境科学国際センター前にて

「虫の観察会」報告

自然環境部会

日時：2011 年 8 月 7 日（日）9:30～12:30
場所：「（仮称）川越市森林公園」計画地
講師：大塚豊「日本野鳥の会東京」幹事、谷津弘子「武蔵丘陵森林公園の自然を考える会」代表、門谷直樹「武蔵丘陵森林公園の自然を考える会」会員
参加者：12 名+スタッフ 5 名

夏休みも中盤に入り、地区での夏祭りや花火大会などイベントが目白押しで、お子さん達も疲れが出てきたのか、当日になってのキャンセルが相次ぎ参加者は少なめでした。その分、講師の方たちとじっくりお話ができたようです。

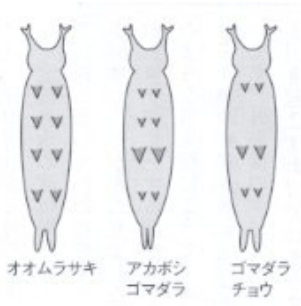
ここの雑木林では 300 種ほどの昆虫が記録されていますが、あまり大物はいません。特に最

近は樹液の出る木が少なく、カブトやクワガタが群がるという光景は見られなくなっています。

でも心配無用です。チビッコたちは虫網を振り回し、セミやバッタ捕りに嬉々としていました。次々と虫を捕っては講師に質問し、お父さんやお母さんに見せていました。このように走り回れる場所が､今は少なくなったのでしょう。そのような機会を提供できただけでもよかったのかなと思います。

見つかった種類はチョウやガの幼虫が多かったです。最近目立った種では移入種のアカボシゴマダラ（要注意外来生物）があります。幼虫もあちこちのエノキの樹でみつかりました。下図のようにオオムラサキ、ゴマダラチョウと幼虫の形がそっくりです。この林にはオオムラサキはいませんが在来種のゴマダラチョウは生息しており、食草が同じエノキなので競合が危惧されます。

数で多いのはセミです。ニイニイゼミ、ヒグラシ、ミンミンゼミ、アブラゼミと出揃って蝉時雨が賑やかです。この日は下表のように 47 種の生き物が観察できました。　（賀登環）



幼虫の図

ゴマダラチョウ

アカボシゴマダラ

アカボシゴマダラの幼虫

これはカミキリの仲間かな？

何が捕れた？

ここに何かいるよ

表　この日観察された 47 種

チョウ・ガの仲間	ホソバシャチホコ	トンボの仲間	バッタの仲間	その他の生き物
アカボシゴマダラ成虫・幼虫	ムラサキシジミ	ウスバキトンボ	クサキリ	クサグモ
アシベニカギバ幼虫	モモスズメ	ノシメトンボ	クビキリギス	アズチグモ
アメリカシロヒトリ幼虫	ヤマトシジミ	アカネの仲間	ショウリョウバッタ	ジョロウグモ
イチモンジチョウ	ヨモギエダシャク		ヤブキリ	ザトウムシ
キシタバ		セミやカメムシの仲間		ニホントカゲ
シャクトリガ	甲虫の仲間	アオバハゴロモ	その他の昆虫	
シロシタバ	アオオサムシ	アブラゼミ	シオヤアブ	
セスジスズメ幼虫	オオヒラタシデムシ	アミガサハゴロモ	ホソヒラタアブ	
セダカシャチホコ	ナガゴマフカミキリ	クモヘリカメムシ	ハサミムシ	
ダイミョウセセリ幼虫	マメコガネ	ニイニイゼミ	トゲアリ	
ナミアゲハ	ミヤマカミキリ	ヒグラシ	トビナナフシ	
ヒメホシホウジャク		ミンミンゼミ	マダラカマドウマ	

池辺公園の保全活動報告

自然環境部会

8 月 5 日（金）今日も朝から猛暑が予想される暑さの中を、4 名の調査員が参加して恒例になったキツネノカミソリの開花数と分布調査を行いましたが、まだ花芽が出始めたばかりなので調査を打ち切り、再度 8 月 13 日（金）の観察会後に再調査しました。

結果として、今年の開花数は 305 株でした。昨年の開花数が 212 株でしたから 100 株近く増えたことになり、隣地からの移植や株分けの活動効果が確実に実ってきていることがわかりました。なお、分布図は作成中です。（大辻晃夫）

8 月 5 日時点のキツネノカミソリ

キツネノカミソリ周辺の除草作業

8 月 15 日再調査時の開花状況

「川の生き物調査」を小畔川などで実施

社会環境部会

埼玉県の水環境課を通して、彩の国水すましクラブに依頼があった「全国水生生物調査」について､社会環境部会 原嶋のグループが 4 回にわたって調査しました。

7 月 23 日に南小畔川の河南水辺公園付近、7 月 27 日に北小畔川の下田橋付近､8 月 5 日に小畔川の御伊勢塚公園付近､8 月 13 日に入間川の安比奈親水公園の入間川支流で調査しました。

調査内容は川幅、水深、水温、流れの速さ、川底の状況を調べた上で水生生物(昆虫､貝類、魚類、水草等）を主体に、付近に飛んでいる虫や鳥などまで、幅広く調査するものです。

水質はきれいな水､少しきれいな水､汚い水、大変汚い水の 4 段階で判定しますが、川越の調査の 4 箇所はいずれも 2 段階の「少し汚い水」に該当しました。魚類も多く、川遊びには支障がないとの判定でした。

4 箇所とも、ヒラタカゲロウ、ヒラタドロムシ、スジエビ、カワニナが多く見られました。また、ザリガニやオオクチバスなどの外来種が増えているのがわかりました。　（原嶋昇治）

「百万灯夏祭り・まちなかクリーン」

社会環境部会

7 月 30 日（土）と 31 日（日）に行われた今年の「百万灯夏祭り」は、曇天や小雨交じりの天気の中、にぎやかに行われました。

かわごえ環境ネットのまち美化グループでは、30 日（土）のイベント開会前の午後 1 時半から 3 時まで、川越駅から仲町までの区間を 3 方向

にわたってクリーン活動を行いました。午後 2 時から交通規制された本川越の大通りでは、年々ポイ捨てごみが少なくなってきました。ごみ回収所の表示が少なく、蓮馨寺境内にも回収ボックスがありませんでした。我々の集めたごみは、蓮馨寺の寺務所裏に置かせてもらいました。帰り道ではせっかくきれいにしたところにポイ捨てごみが目立ち始めました。

4 時以降はシルバー人材センターがごみ拾いをします。人が集まるとごみが出る。来年は、実行委員会との事前協議が必要だと感じました。

翌 31 日は､午後 1 時くらいから小雨模様でしたので中止しました。　（武田侃蔵）

「クールスポット」9 箇所の温度調査 16 名が分担して 8 月 8・9 日に実施

社会環境部会

埼玉県が音頭をとってはじめた「クールスポット 100 選」は、県内各地から累計で 276 件の場所が寄せられました。その中で 100 箇所を選んで、猛暑続きの 8 月 8 日と 9 日の両日にわたって実際の温度測定が行われました。県から業務を委託された特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉と芝浦工業大学中口研究室からの指示に従い、送られた温度計を使ってクールスポット内の 3 地点と外の暑い地点の温度を測り報告しました。結果は下の表のようになりましたが、3℃から 5℃までの温度差が見られ、クールの実際が数字で現されました。かわごえ環境ネット会員のご協力に感謝します。（武田侃蔵）

川越市内クールスポットの気温測定結果

No.	各地点上段はスポット内 下段は 外の暑い地点 の気温 地点	8 月 8 日			8 月 9 日		
		13:00	13:30	14:00	13:00	13:30	14:00
1	(仮称)川越市森林公園	31.3℃	32.8℃	32.8℃	32.8℃	34.1℃	34.6℃
		39.2℃	39.2℃	38.4℃	41.1℃	41.1℃	40.0℃
2	烏頭坂熊野神社	33.8℃	34.6℃	34.1℃	35.6℃	36.1℃	34.6℃
		38.0℃	39.2℃	40.0℃	40.0℃	40.0℃	40.0℃
3	仙波河岸史跡公園	32.6℃	32.5℃	32.8℃	34.6℃	34.6℃	34.1℃
		39.2℃	36.7℃	37.2℃	39.2℃	39.2℃	42.1℃
4	仙波東照宮石段	33.2℃	31.8℃	33.2℃	35.1℃	35.1℃	34.6℃
		33.8℃	35.1℃	35.1℃	38.0℃	37.2℃	38.0℃
5	蓮馨寺境内	36.1℃	36.1℃	34.6℃	36.1℃	34.6℃	36.7℃
		38.8℃	39.5℃	39.5℃	39.5℃	40.3℃	41.3℃
6	名細八幡神社	32.5℃	32.8℃	34.1℃	32.8℃	34.5℃	34.1℃
		39.2℃	38.0℃	40.0℃	40.3℃	39.2℃	41.1℃
7	市民の森 1 号地 鎌倉街道跡	32.5℃	33.8℃	32.5℃	34.1℃	34.1℃	33.8℃
		39.2℃	39.2℃	39.2℃	42.2℃	42.1℃	40.2℃
8	東洋大学大越庭園	33.8℃	35.1℃	35.6℃	35.1℃	35.6℃	35.6℃
		38.4℃	37.7℃	39.2℃	40.3℃	39.2℃	41.1℃
9	伊佐沼公園	32.8℃	34.1℃	34.6℃	34.1℃	34.1℃	34.6℃
		34.6℃	36.1℃	35.0℃	35.0℃	36.7℃	36.7℃

会員・地域・流域の環境活動

第 3 回「水と緑と安心を!サイクリングで探訪」8 月 20 日に入間川河畔と赤間川用水路を

史跡の看板が泣く荒れ放題の山王塚

何年か放置されたままの不法投棄の山

10 メートル横に立てられた市の新看板

7 月の出水で中央の堰が壊れた上奥富堰

緊急救助用のタイヤが連なっている用水

近所の人らで飾り付けられた「子育地蔵」

曇り空のもと、自転車3 台、バイク 1 台の 4 人がロジャース前に集まり、9 時出発。幹線 16 号国道に並行する入間川街道を走りました。昔は馬車と荷車が通った道なので、車がやっとすれ違う状況です。その左側を自転車は、はらはらしながらの走行でした。寿町の入口の古くからある「子育地蔵」の年 1 回のお祭りで、近所の人が出て飾り付けを始めたところでした。

坂を下って尚美学園大学横の赤間川用水に沿って田園地帯を走り、八坂神社横から台地に上がり山王塚に廻りました。関東一の上円下方墳だと紹介する市教育委員会のお知らせ板が立っていますが、なんらの手当もなされていません。地域からも見放されているようで残念でした。関越道横でもいくつかの古墳跡を調査発掘したのですが、それらしい跡はわかりませんでした。

入間川の砂利運搬の安比奈線跡を越して、八瀬大橋へ向かう大通りに出て、赤間川用水横を通る道を探しましたが見つからず、増形の卸売市場裏に出てしまいました。一帯は西武鉄道の土地で、砂利運搬のトラックの出入りがあり、入間川岸に出る道は穴ぼこだらけでした。安比奈親水公園を対岸に見、西武文理学園の特徴のある建物を眺めながら右岸の未整備の道を通りました。対岸の左岸はサイクリング道路になっていますが、右岸は冒険道路？でした。

河川敷を利用した運動公園ではサッカーや野球の練習が行われていました。狭山市のリサイクルプラザ手前の河畔林に不法投棄の山がありました。テレビに冷蔵庫など、数年放置されているようでサビだらけでした。その 10m 横に、狭山市が立てた「不法投棄禁止」の新しい看板があり、管轄が違う縦割り行政の姿を見ました。

狭山大橋下を抜けると、整備された上奥富運動公園がありました。川越でも、安比奈親水公園や水上公園のほかに、このくらいの多目的な公園が出来ないかと思いました。

国道 16 号の歩道を走りましたが、交差点では歩道橋があるものの自転車の横断には配慮がなく、はらはらしながら渡りました。狭山病院から入間小学校への道に曲がったら赤間川用水が流れていました。幅 2m 足らずですが水量は多く、20～30m おきに古タイヤが釣り下がっていました。万が一転落して流されてもつかまって助かるようになっていました。上流に行くと霞川と交差し、川の下を潜って笹井堰に至ります。

今度は用水路に沿って川越まで戻りました。入間川 4 丁目先で国道 16 号を横断して北上、狭山町でまた国道 16 号を横断、川越市へだんだん細い水路になりました。赤間川通りの標識もありました。入間川街道に戻りましたが、「子育地蔵」は花などで飾られ子供を待っていました。

（武田侃蔵）

会員・地域・流域の環境活動

え！住宅地でもアカボシゴマダラ

アカボシゴマダラの卵

アカボシゴマダラの幼虫

昨年暑い夏、「変な蝶だな」と見たのが「ゲリラ放蝶」の疑いのあるアカボシゴマダラ。今年は子どもエコクラブの会員家族が幼虫を見つけました。住宅の庭にはえた背の低いエノキに 2 匹の幼虫が葉を食べていました。

県の補助金で買った「イモムシ図鑑」で調べると、アカボシゴマダラでした（写真）。農家の裏ヤマにあったエノキから広がった幼木で繁殖していました。

アカボシゴマダラが羽化したあとに、近くの葉に卵のついており、そこにも幼虫がいました。

サナギも見つかったので家で羽化させたら、予想通りアカボシゴマダラでした。林の林縁のエノキに産卵しているのも観察しました。

埼玉昆虫懇話会の専門家に聞いたところ、R 町でもアカボシゴマダラが多く、ゴマダラチョウはまれにしか見られないとのこと。今年は春型（全体に白くスジが）が見られ、定着・拡大していることが考えられます。最近、自宅の低いエノキにアカボシゴマダラをみつけ、住宅地でも繁殖している深刻な状況に思えます。

会員のみなさんが目にした情報を寄せてください。

（過昌司）

近隣市の環境行政　坂戸市

川越市の環境行政の中で、ごみ減量への方策としての「ごみ収集の有料化」と、公開事業点検で検討された環境推進員制度について、坂戸市では一定の方向を出しています。

川越市では、8 月 22 日の「廃棄物等減量推進審議会」に、「有料化について」の市長からの諮問が出され、1 年かけて検討することになりました。坂戸市では、平成 16 年から指定ごみ袋制を採用して 8 年目になりますが、市民の間に定着して減量化が進んでいます。環境月間の 6 月の市の広報に、ごみ減量に努めた地区の代表が写真入で紹介され、市民の関心を高めています。

指定袋導入前の平成 15 年の 1 人 1 日あたりごみ排出量は 1,015g、導入の平成 16 年は 889g、平成 22 年は 777g となっています。燃やせるごみ（赤色）、燃やさないごみ（青色）、資源物（黄色）の三つに分け、45L の大きい袋で 10 枚入り（他も同じ）で 85 円、30L で 55 円、20L で 45 円、市内外 174 ヶ所（平成 23 年 2 月現在）で市民が購入します。この指定袋で「ごみ」を出さないと市は収集しません。お金がかかります。しかし、指定袋の代金は市に入らないので、いわゆる「有料化」とは違うとの市の見解でした。同じような指定袋方式を取った鶴ヶ島市は中止になり、県下で続いているのは坂戸市だけです。

坂戸市も昨年度まで 220 人の「衛生委員」がおりましたが、今年度から廃止して各区・自治会にお願いする形とし、区・自治会に対して環

境衛生交付金を支出する方式に変えました。指定袋導入に際しては、各地区で住民説明会を行い、区長・自治会長のみなさんに協力をいただいたということです。

また、坂戸市では「花いっぱいのまち・坂戸」を合言葉に「オープンガーデン事業」が花好きの市民の協力で進められ、写真と地図入りのマップが作られ、ユニークな活動として注目されています。

（武田侃蔵）

川越市からのおしらせ

くぬぎ山地区自然再生協議会主催第 3 回くぬぎ山保全管理活動イベント　環境政策課

9 月 17 日（土）午前 10 時～正午（小雨決行）、狭山市堀兼の自然再生地において、アカマツ林の育成管理を主目的に外来植物等の駆除や間伐による間引き作業を行います。参加費は無料です。受付は、くぬぎ山の山脇学園用地にて 9 時 30 分から行います。当日は、野外活動が行える服装（長袖、長ズボン、軍手、帽子など）でご来場下さい。締切は、ボランティア保険に加入するため 9 月 14 日までに、くぬぎ山地区自然再生協議会事務局（埼玉県みどり再生課内：電話 048-830-3151）までお申込みください。なお、荒天時等中止のお知らせは、当日の朝、埼玉県みどり再生課にお問い合わせいただくか、同課ホームページ（http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/f08/）にてご確認ください。

専門委員会からの報告

社会環境部会

8 月の例会は、12 日（金）福田ビル 3 階において出席者 13 名により会議を進めました。

9 月 24 日（土）社会環境部会が企画したトピックス講座は、運営委員 4 名を選出し、部会全員で分担して成功させようと意気込む構えです。また、チラシを配布するだけでなく、各人が地域の人に参加を呼びかけることにしました。

第 19 回　生ごみリサイクル交流会（8 月 26 日）に 3 名が参加。生ごみ減量化に対して、川越に適用できるヒントがあるか、情報収集することにしました。

クールスポット 100 選の温度測定：1 か所 2 名 1 組、9 か所を 2 日に渡って行いました。全国一斉川の生きもの調査は、小畔川流域の 4 か所で行われました。そのほか、資源循環推進課との打合せがありました。

緑のカーテンを実行した効果についての話がありました。その効果をダイエットコンクールに応募するようお願いしました。

新会員が増えました。新会員が、部会に参加するにはどうしたらよいかなど意見が出ました。

今後、社会部会は、どのように展開して行ったらよいか討議をしました。次のような意見がありました。

1. 部会は、情報交換の場であるが、その情報をグループへの伝達する場でもあるので結論を追求する場ではない。
2. 自由参加、個人の意思で参加するので、楽しく参加しようという雰囲気にするにはどうしたらよいか。顔の見える会にしたい。
3. 行政の担当部門、環境推進員などとの意見交換ができる機会をつくる。

月刊かわごえ環境ネットの記事が充実していますので、その情報を生かしてほしいと思います。そして、内容について意見交換をおこない行動に移していきたいと思います。

次回、社会環境部会は、9 月 9 日（金）13 時より行います。（社会環境部会代表　原嶋昇治）

自然環境部会

7 月 11 日（月）は、（仮称）川越市森林公園計画地で準絶滅危惧種のクモキリソウの調査と保全活動が行われました。

7 月 29 日（金）は、市外観察会としてのムサシトミヨ保護センター等の見学会を開催しました。詳しくは記事をご覧ください。

8 月 5 日（金）は、池辺公園でキツネノカミソリの開花数と分布調査を行いました。詳しくは記事をご覧ください。

8 月 7 日（日）は、（仮称）川越市森林公園計画地で虫の観察会が開催されました。詳しくは記事をご覧ください。

8 月 12 日（金）は、福田ビル 3F 会議室で 8 月度の自然環境部会が 11 名の参加で開催されました。報告事項として、ムサシトミヨ保護センター等の見学会の報告、生物多様性勉強会の詳細決定報告、かわごえの環境・平成 23 年度版用原稿（池辺公園における保全活動、湧水の保全と再生に関わる活動）の報告、移入種チョウの調査結果報告と継続しての調査依頼があり、連絡事項としては、環境政策課との生物多様性保全に関する第 2 回打ち合わせ会を 8 月 31 日（水）午前 10 時から川越市役所本庁舎 5 階フリースペースで行うこと、公園整備課のなぐわし公園建設担当部署との水辺の公園づくりに関する第 1 回打ち合わせを 9 月中に行うこと、環境政策課みどりの担当が主催する江遠島緑地における水辺ふれあいイベントの支援活動を 10 月 22 日（土）に行うことなどが報告されました。

8 月 13 日（土）は、市民の森 8 号と池辺公園でキツネノカミソリの観察会が開催されました。詳しくは記事をご覧ください。

（自然環境部会代表　大辻晃夫）

おしらせ

【再掲】「川越の自然」絶賛頒布中

かわごえ環境ネット設立 10 周年記念事業として出版した「川越の自然 –雑木林・河川・湧水・社寺林を訪ねて–」ですが、大好評につき重版を行いました。みなさまの頒布の希望に十分お応えすることができますので、ぜひこの機会にお買い求めください。

頒布方法は、本会の出版につき川越市役所での扱いができません。前号の同封資料にあるとおり、会員の方には、毎週火曜日 10:00-15:00 に生活クラブ生生協　くらぶルーム川越（川越市東田町 5-12）で頒布します。また、本会が主催する行事で直接頒布する方法を取ります。

それ以外の方にも郵送でお送りします。1 冊 500 円で、こちらから送付する場合は別途送料をいただきます（1 冊の場合はメール便で 80 円）。

頒布の希望または問い合わせについては、専用のメールアドレス（book@kawagoekankyo.net）にお願いいたします。このメールは、担当の横山・小瀬に届きます。こちらから折り返し連絡を差し上げます。

「川越の自然」の内容を詳しく紹介します。川越の自然環境スポットとそこに生息・生育する動植物を紹介しているもので、写真や地図をふんだんに盛り込んだフルカラーA5 版 176 ページの持ち運びに便利な冊子です。

市内にお住まいの方はもちろんのこと、近隣の市町にお住まいの方、また、川越をよく観光で訪れる方で、もう少し違った川越の側面を知りたい方、建設や環境保全の専門の方で、川越の自然のことを知る必要がある方など、あらゆる方にきっと満足いただけます。川越にゆかりのない方も、読み物として楽しめます。

この機会にぜひご購入ください。

【雑木林】夏の（仮称）川越市森林公園計画地の紹介

【河川】不老川の川環境の変遷、流域点描

【湧水】仙波河岸史跡公園の紹介

動植物の特徴を説明した「ミニ図鑑」

【再掲】「エコライフ DAY2011（夏）」と「家庭の電気ダイエットコンクール」最終案内

会員のみなさまには、7 月号の郵送資料に埼玉県が実施している「エコライフ DAY2011（夏）」チェックシートと「家庭の電気ダイエットコンクール」応募用紙を同封しました。

「エコライフ DAY2011（夏）」について、会員分またはこの会誌を見て応募されようとされている方の分については、かわごえ環境ネットでとりまとめて報告いたしますので、部会に出席、事務局への持参・Fax・郵送での送付を 10 月 1 日（土）までにお願いします。用紙は、埼玉県ホームページ（http://www.pref.saitama.lg.jp/page/ecolifeday.html）等でも入手可能です。あなたの決めた 1 日、環境のことのことを考えて生活してみると、どれくらいの二酸化炭素が減らせたかがわかります。ぜひご参加ください。

「家庭の電気ダイエットコンクール」は、郵送資料では、エコライフ DAY とくっついた用紙に要項が書かれています。東京電力から 8 月の「電気ご使用量のお知らせ」が届いたら、その用紙を貼り付けて、必要事項を記入するだけで応募でき、なんと 50 名までの方に豪華賞品、抽選で 1,100 名に参加賞があります。1 か月節電に取り組んで応募するために、今から節電の準備を進めてください。こちらも埼玉県ホームページ（http://www.pref.saitama.lg.jp/page/h23diet.html）に詳しく書かれていますので、会員以外の方もご参照の上ご応募ください。応募締切は 9 月 20 日（火）コンクール事務局必着です。

おしらせ

「2011 アースデイ・イン・川越　立門前」のプレイベントの「川越の自然写真撮影」を 10 月 3・5・7 日に

10 月 23 日（日）のアースデイは、「川越の自然」刊行を記念して、本に掲載された写真を多数展示しますが、市民にも実際に現地を見て廻って写真を撮ってもらう、プレイベントを企画しました。10 月 3 日（月）・5 日（水）・7 日（金）・~~9 日（日）~~の 3 日間、本川越駅 9 時に集合、自転車で廻って写真を撮ります。良い作品を本会場に展示します。9 月 25 日の市の広報に市民の参加を呼びかけました。

また、来年は市制 90 周年ですので、立門前の昔の写真展とあわせ、プレ 90 周年展も企画しています。話題のエコマネーも使用期間を 10 月 1 日から 1 ヶ月とし、加盟店も増やしました。ボランティア活動と地元商店との「絆」を深める本来の目的に沿った実験活動になることを期待しています。

「第 11 回北公民館環境まつり」の講演は上領さんの「自然エネルギーの活用」に

節電の夏を経験して、市民のエネルギーに対する関心も高まってきました。脱原発からの次の展望は「自然エネルギーの活用」となります。11 月 12 日（土）の第 11 回北公民館環境まつりでは、埼玉県の環境アドバイザーの上領園子さんの豊富な経験に基づいた講演が予定されています。

また、例年の環境標語・川柳・都都逸の募集も広報川越に掲載され、諸準備が進められています。

【会員のみなさまへ】可燃ごみの排出重量測定へのご協力について（依頼）

川越市から本会会員に対して、各家庭から排出される可燃ごみの重量についての調査依頼が川越市環境部資源循環推進課減量リサイクル推進担当から来ました。

可燃ごみ排出時に可燃ごみの重量を体重計等を利用して測定するというもので、9 月 18 日から 10 月 15 日の期間中において、可燃ごみ排出日のうち 2 回測定してもらいます。

詳しい要領と調査票は、9 月号郵送資料に同封していますので、ご覧の上できる限り実施にご協力ください。

かわごえ環境ネット主催行事一覧（記号の凡例はイベントカレンダーをご参照ください）

◆広報委員会（2011 年 9 月度）

日時：9 月 7 日（水）9:00-10:00

場所：川越市役所本庁舎 5 階フリースペース（川越市元町 1-3-1）

●社会環境部会（2011 年 9 月度）

日時：9 月 9 日（金）13:00-15:00

場所：福田ビル 3 階会議室（川越市郭町 1-2-3）

●自然環境部会（2011 年 9 月度）

日時：9 月 9 日（金）15:00-17:00

場所：福田ビル 3 階会議室（川越市郭町 1-2-3）

両部会は、毎月第 2 金曜日の 13:00-15:00, 15:00-17:00 の連続開催です。次回は 10 月 14 日（会場は福田ビル 3 階会議室）です。会員であれば自由に出席できる話し合いにご参加ください。

★（仮称）川越市森林公園計画地 植物調査・保全作業

日時：9 月 12 日（月）・9 月 26 日（月）

10 月 10 日（月）・10 月 24 日（月）9:30-12:30

場所：川越南文化会館（ジョイフル）（川越市今福 1295-2）

問い合わせ：賀登（049-234-9366）

毎月第 2 月曜日は植物調査、第 4 月曜日は西側公有地の常緑広葉樹林遷移防止のための手入

れ保全作業。いずれも南文化会館（ジョイフル）9:30 集合。事前連絡はいりません。

◆理事会（2011 年度第 6 回）

日時：9 月 20 日（火）9:00-10:30

場所：川越市役所本庁舎 7 階 7C 会議室

◆かわごえ環境フォーラム実行委員会（第 2 回）

日時：9 月 20 日（火）10:30-11:30

場所：川越市役所本庁舎 7 階 7C 会議室

★トピック講座「持続可能で安心して暮らせる日本へ！」これからのエネルギー事情・食糧事情

日時：9 月 24 日（土）13:00-15:00

場所：川越市立中央図書館 3 階視聴覚ホール（川越市三久保町 2-9）

講師：上村雄彦先生（横浜市立大学国際総合科学部准教授）

参加費：無料（終了後の懇親会は 500 円）

定員：100 名

申込：川越市環境政策課（Tel.049-224-5866）

★生物多様性勉強会

（多様な生き物との共存をめざして）

日時：10 月 1 日（土）10:00-12:00

場所：川越市市民会館会議室（川越市郭町 1-18-7）

題目・講師：1.「生物の多様性とは、どのようにして守るのか」（川島秀男先生：NPO 法人環境ネットワーク埼玉・副理事長）

2.生物多様性県戦略について（中西裕先生：埼玉県環境部自然環境課　主幹）

申込：川越市環境政策課（Tel.049-224-5866）

★2011 アースデイ・イン・川越 立門前

日時：10 月 23 日（日）10:00-15:00

場所：蓮馨寺など（川越市連雀町 7-1）

★第 11 回北公民館かんきょう祭り

日時：11 月 12 日（土）9:00-16:00

場所：川越市北公民館（川越市氷川町 107）

会員・関係団体の主催行事

●福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子（Tel.049-246-9319）

☞おいしく・楽しく農業体験

◆9 月 10 日（土）10:00 からの作業

ブロッコリー、キャベツの収穫

◆10 月 8 日（土）10:00 からの作業

大根畑の片付け・ビニールはがし

（前号では時間を 9:30 とお伝えしていましたが、10:00 からとなっています。編集担当）

集合：明見院（川越市今福 677）

クラブ会費：1 家族 1,000 円（保険代・備品代等）、クラブ員でない参加者は 1 人 100 円（保険代）とします。

福原ファームクラブ活動予定表

（活動日は第 2 土曜日、8 月は第 3 土曜日）

月	日	活動内容（先の内容はこれまでの例）
9	10	ブロッコリー、キャベツの収穫
10	8	大根畑の片付け・ビニールはがし
11	12・19	里芋の収穫・芋煮会
12	10	大根の収穫・ビニールはがし
1	14・21	雑木林の手入れ・落ち葉掃き・豚汁
2	11・18	雑木林手入れ
3	10・17	雑木林手入れ　焼き芋・スープ・あそぼうパン

●特定非営利活動法人

武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

問い合わせ：谷津弘子（Tel.&Fax.049-224-9118）

☞森林公園かんさつ会

◆9 月 5 日（月）・18 日（日）当会主催

国営武蔵丘陵森林公園南口休憩所に 10:20 集合、15:00 過ぎ終了、参加費 200 円。入園料要、弁当持参、雨天決行。

9 月は、ススキの根元で咲くナンバンギセルやトンボやクモなどを観察します。ぜひお出かけください。

◆10 月 23 日（日）公園主催・当会協力

国営武蔵丘陵森林公園南口 10:15 集合、15:00 過ぎ終了解散、参加費無料、入園料要、お弁当持参、雨天決行

◆10 月 31 日（月）当会主催

国営武蔵丘陵森林公園南口休憩所に 10:20 集合、15:00 過ぎ終了、参加費 200 円。入園料要、お弁当持参、雨天決行。

10 月は、センブリの花やセンボンヤリの花を楽しみましょう。クモや昆虫類を観察します。ぜひおでかけください。

●みなみかぜ　いきいき田んぼの会

（川越生物多様性有機農法で地域づくりに取り組む会）

問い合わせ：みなみかぜ　後藤・田崎

（Tel.049-234-1200）

場所：みなみかぜ（川越市吉田 204-2）

ホームページ：http://blogs.dion.ne.jp/tanbo373/

※活動には、誰でも参加できます。参加費はお問い合わせください。イベント単発の活動参加もできます。

※毎週火曜・金曜、午前中に田んぼで作業をしています。

※生きもの調査、一緒に活動しませんか？　田んぼまわりの動植物に興味がある個人およびグループの募集をしています。

◆9 月 10 日（土）10:00-11:00　例会

◆9 月 17 日（土）9:00-13:00　稲刈り

※稲刈り体験しませんか。参加者募集中

◆10 月 1 日（土）9:00-13:00　収穫祭

◆10 月 8 日（土）10:00-11:00　例会

●クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：武田侃蔵

（Tel.090-2521-5770, Fax.049-222-0786）

☞「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・放置自転車」のゼッケンをつけて、まち美化啓発運動

1. 第 1 火曜日・第 3 木曜日（13:30-15:00）

◆9 月 6 日（火）・15 日（木）

◆10 月 4 日（火）・20 日（木）

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

2. 第 2 日曜日（9:30-11:00）

◆9 月 11 日（日）・10 月 9 日（日）

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ。

3. 第 4 土曜日（13:30-15:00）

◆9 月 24 日（土）・10 月 22 日（土）

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

☞「水と緑と安心を！サイクリングで探訪」第 4 回

◆9 月 17 日（土）9:00 集合

伊佐沼の荒川右岸用排水組合事務所前集合。江遠島緑地、麦生川、下老袋氷川神社、三ツ又沼ビオトープを観察、芳野台工業団地、東清掃工場、赤間川の跡等を回り宮元町付近で解散。行程は約 35km。

●川越市

申し込み・問い合わせ：環境政策課（Tel.049-224-5866）

☞かわごえエコツアー

◆9 月 21 日（水）9:00-16:00

会場：川越水上公園ほか

定員：先着 25 人、経費：100 円

「川越グリーンマップ」「川越の自然」を使って、市内の環境スポットを見学。昼食持参。

●(財)埼玉県生態系保護協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：笠原啓一（Tel.049-222-0957）、当日の携帯電話連絡（Tel.080-6584-3010）

☞伊佐沼探鳥会　毎月第 2 日曜日

時間：10:00 集合-12:00（小雨決行）

集合：伊佐沼の西側にある東後楽会館入口近くの蓮見橋、解散は同じ場所で正午ごろ。

持ち物：筆記用具、あれば双眼鏡

参加費：300 円、高校生以下 100 円

（保険料・資料代として）

◆9 月 11 日（日）

残暑の続くなか、シギやチドリの仲間が渡って行きます。伊佐沼で、旅の途中休憩とエネルギーの補給をします。目的地に無事行けるよう応援しましょう。水面に吹く涼風に送られ旅立ちます。

◆10 月 9 日（日）

沼は水を落として浅くなりました。シギ、チドリ、サギは各々餌を捕るのに良い水深の場所を選んで活動します。夏鳥と冬鳥の交代の季節です。多くの種類の鳥が見られるでしょう。

広報委員会から

●本誌への投稿をお待ちしています。

本会会員をはじめとして、川越における環境活動報告や主張などの記事をぜひお寄せください。写真の掲載も可能です。また、本会会員や関連団体等がこれから実施する公開イベント等の情報の掲載等も受け付けています。

2011 年 10 月号（No.060，10 月上旬発行予定）の掲載原稿は、9 月 14 日（水）必着です。編集担当の小瀬・武田・事務局のいずれでも承ります。電子データでいただけると助かります。不明な点はお問い合わせください。

●Twitter でフォローして最新情報をゲット

かわごえ環境ネットホームページの情報を更新すると、Twitter（@kawagoekankyo）が連動して記事をツイートします。Twitter に登録してぜひフォローしてください。

●編集後記

◆【東日本大震災の被災地とボランティア】

8 月 26～29 日に大学生 21 名を引率して、岩手県遠野市を拠点として三陸沿岸の災害ボランティア活動を行って来ました。遠野市は、被災地である三陸沿岸部から 40km ほどの距離にあるため、被災地の後方支援拠点となっています。私たちは、被災地支援ボランティアネットワーク「遠野まごころネット」（http://tonomagokoro.net/）にボランティア登録を行って、他団体や個人ボランティアと一緒に 27 日は陸前高田市気仙町上長部地区、28 日は大槌町赤浜地区のがれき拾いを行いました。

岩手県は、8 月末に避難所がすべて閉鎖され、仮設住宅等への入居が完了しています。被災者への支援は新たな段階を迎えていますが、被災地は、小集落を中心にがれきがそのままの状態で残されているところもあります。私が作業した場所も、瓦が土に埋もれていたり、陶器、ガラスの破片が敷地にたくさん落ちていたりいました。また、ところどころ腐敗臭が漂っていました。この状態でも、当初の写真を見る限りは、少しずつ片付けが進んでいるようです。

今回の活動で最も感心したのは、「遠野まごころネット」の存在です。3 月 28 日に遠野市社会福祉協議会が中心となって設立した同組織は、個人ボランティアの受け入れをいち早く行い、寝泊まりできる場所（体育館）も提供して、全国から個人ボランティアが集まっています。個人ボランティアが先導的役割を果たすとともに、WFP・JICA などの国際的な活動を行う支援組織の支援も加わって、組織の運営と被災地・被災者とボランティアのマッチングを行い、人材をスムーズに動員できる体制が整えられています。

そして、さまざまな情報発信をインターネットを中心に続けています。

かわごえ環境ネットは、その活動期間や目的は異なるものの、この運営方法はたいへん参考になります。個人会員を中心としたボランティアによる運営を行っているという点ではまったく同じですが、個人・団体の求人の受け入れ、企業・団体等の環境活動の機会の提供、これらの情報を受け入れ、そして、活動拠点の確保が活動を持続的に発展させるために必要です。このボランティア経験を生かして、本会のネットワーク組織としての役割を考えて、実行していきたいと思います。　（こせ）

◆節電をとおしてエネルギー問題を考えさえられた夏でした。心配した混乱も無く夏が終わろうとしています。しかし、突発的な、「想定外」の暑さのぶり返しが心配です。台風 12 号の動きも、また集中豪雨の量も想像を絶するものでした。3.11 の大震災以来、「想定外」の事象が続いています。この狭い日本に地球環境の異変が集中しているようです。さらに目に見えない放射能への不安」が加わって、国民の心配は増すばかりです。狭山茶の名で売られたお茶にも、基準を超える放射能が検出され、商品が回収されました。お茶はお湯をかけるので実際に飲用するときは心配ないはずですが、「心配ない」と声高に言えない雰囲気です。情報を整理して国民の安心を図る工夫が緊急の課題でしょう。(KT)

イベントカレンダー（9 月 7 日～10 月 29 日）

日	月	火	水	木	金	土
★：会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●：会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 〇：その他　詳細は個別の記事をご覧ください。			9/7 ◆9:00 広報委員会	9/8	9/9 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	9/10 ◎10:00 例会(みなみかぜ) ◎10:00 おいしく楽しく農業体験
9/11 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼探鳥会	9/12 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地 植物調査	9/13	9/14 〇本誌 10 月号投稿締切	9/15 ◎13:30 まち美化啓発運動	9/16	9/17 ◎9:00 稲刈り（みなみかぜ） ◎9:00 水と緑と安心を！サイクリングで探訪
9/18 〇可燃ごみの排出重量測定（10/15 まで 2 回） ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会	9/19 敬老の日	9/20 ◆9:00 理事会 ◆10:30 フォーラム実行委員会 〇家庭の電気ダイエットコンクール応募締切	9/21 ◎9:00 かわごえエコツアー	9/22	9/23 秋分の日	9/24 ★13:00 トピック講座「持続可能で安心して暮らせる日本へ！」 ◎13:30 まち美化啓発運動
9/25	9/26 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地 保全活動	9/27	9/28	9/29	9/30	10/1 ◎9:00 収穫祭（みなみかぜ） ★10:00 生物多様性勉強会 〇エコライフ DAY2011（夏）チェックシート提出期限 〇2011 アースデイ・イン・川越エコマネー使用期間（-10/31）
10/2	10/3 ◎9:00 川越の自然写真撮影	10/4 ◎13:30 まち美化啓発運動	10/5 ◎9:00 川越の自然写真撮影	10/6	10/7 ◎9:00 川越の自然写真撮影	10/8 ◎10:00 例会(みなみかぜ) ◎10:00 おいしく楽しく農業体験
10/9 ~~◎9:00 川越の自然写真撮影~~ ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼探鳥会	10/10 体育の日 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地 植物調査	10/11	10/12	10/13	10/14 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	10/15 〇可燃ごみの排出重量測定（9/18 から 2 回）
10/16	10/17	10/18	10/19	10/20 ◎13:30 まち美化啓発運動	10/21	10/22 ◎13:30 まち美化啓発運動
10/23 ★10:00 アースデイ・イン・川越 ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会	10/24 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地 保全活動	10/25	10/26	10/27	10/28	10/29

発行日　2011 年 9 月 6 日　修正 2011 年 9 月 8 日　編集・発行　かわごえ環境ネット 広報委員会
事務局　〒350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1 川越市環境部環境政策課
Tel. 049-224-5866（直通）　Fax.049-225-9800　E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp
かわごえ環境ネットホームページ　http://kawagoekankyo.net/